

FISHING トピック No.39

かや い ものかんさつ 夏夜の生き物観察

台風6号の接近で普段は穏やかな目の前の海も大荒れ。風速は15m/s（時速54km/hで移動した時に受ける風の強さ）に達し立っているのもやっこのこと。ふと外を見ると道端の電柱が薙ぎ倒されていました。自然の力の凄さと恐ろしさを感じながら館内を見回っていると…渡り廊下にクワガタが！もし少年自然の家に避難してきたようです。（雨と風が落ち着いてから山へと返してあげました！）さて、台風が過ぎ去った数日後、夜の生き物観察へ出かけました。情報によれば『海のギャング』や『ドラゴン』と呼ばれる魚がやって来ているとのこと。見つけられるかワクワクしながら観察



開始！水面付近ではセイゴ（スズキの子ども）やボラが優雅に泳いでいました。そんな中、小さなイカの群れを発見！網で掬って見ると…アオリイカの子どもでした。

アオリイカは日本の沿岸に暮らすイカの中では大型で胴の長さが最大で40~50cm程になります。キレイな見た目と可愛い姿を見てアオリイカのファンになる人が多いようです。そして、非常に美味しいことからイカの中で不動の地位を誇るイカの王様とされています。釣りの対象魚としても人気でたくさんの愛好家があります。日本の伝統的なルアー『餌木』を使って狙う方が多いですが、ヤエン（アオリイカ釣り用の仕掛け）や生餌をつけたウキ釣りなどで釣ることもできます。孵化したアオリイカは深場に移動することはなく

浅瀬でエビや小魚などを食べ成長するようです。今回、発見したアオリイカは胴の長さが5cm程しかありませんでしたが、これからどんどん大きく成長して、立派なアオリイカになって帰ってきてくれることを祈りながら（観察後）海へ逃がしてあげました。今後も、しばらくはアオリイカの子どもを観察できることでしょうか！アオリイカの他にもヒイカ（ジンドウイカ）やコウイカなどのイカたちに出会えることもあります。みなさんもキュートなイカたちを観察してみたいかでしょうか？本題の魚は今回、残念ながら見つけることができませんでした。今度は釣り（ワインド釣法）で捕獲に挑もうと思います。結果はいかに…。**正体は？**

